



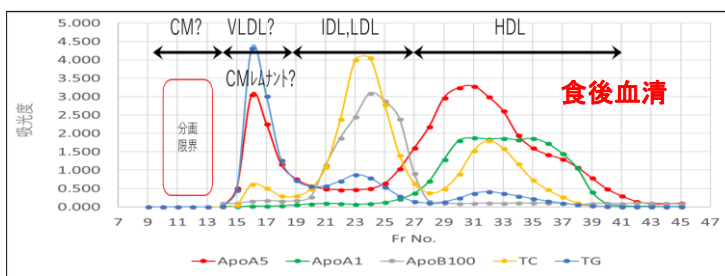
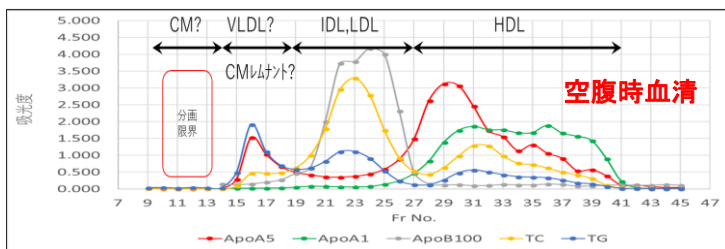
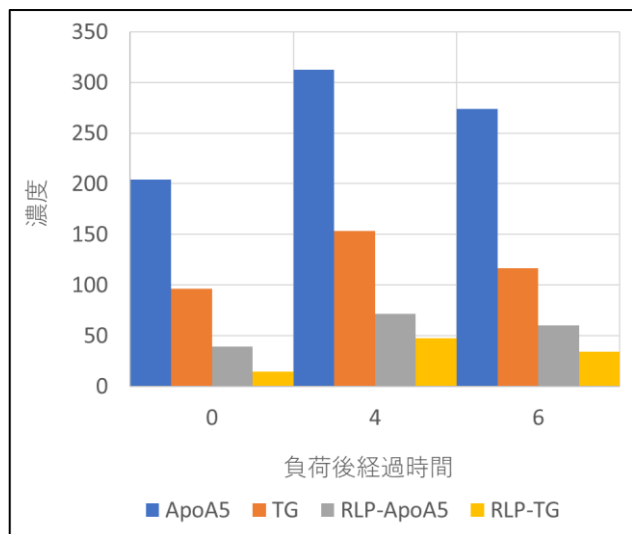
Human ApoA5 Assay Kit

高TG血症に関与の代謝調整因子

- 研究用試薬 -

アポA5は、2001年にPennacchioらによって発見された分子量39kDaの蛋白質で、肝臓で生産され、血液中ではHDL粒子とTGリッチリポ蛋白 (CM,VLDL)に結合して存在していることが報告されております。これまでの研究の過程で、アポA5欠損マウスによる動物実験において血清中のTG濃度が顕著に上昇する一方で、アポA5遺伝子を導入したマウス血清においてはTG濃度が顕著に低下することが確認されています。またヒトにおいてもアポA5遺伝子変異によるアポA5欠損症で重篤な高TG血症を呈することが示されていることから、アポA5はTGの代謝を調整する因子の一つとして注目されています。

製品コード	製品名	容量	価格 (税別)	測定範囲	検出 対象	測定対象			
						血清	EDTA -血漿	尿	培養上清
27191	Human ApoA5 Assay Kit - IBL	96 well	¥98,000	0.31 ~ 20 ng/mL	H	○	○	-	-



脂質負荷後検体におけるアポA5、TGおよびRLP濃度の推移

測定対象: 正常者 (TG: <150mg/dL) n=4
測定試料: 脂肪食「オフトクリーム」の経口摂取前後 (0、4、6時間後)
測定項目: アポA5、TG、RLP-TG、RLP-アポA5

ゲルろ過操作による、リポ蛋白上のアポA5局在確認

ヒト血清を、FPLCにおいて、Superose6(10/30)カラム (GEヘルスケア)にてゲルろ過操作を行い、各フラクションを測定。

測定試料: 食前・食後のヒト血清のSuperose6(10/30)カラムでのゲルろ過フラクションサンプル
測定項目: アポA5、アポA1、アポB100

【参考文献】

宮下かずや、深町勇、長澤拓海、安部由美子、中嶋克行 ヒト血清アポA5-ELISAの確立とその臨床的意義について 第50回日本動脈硬化学会学術総会ポスター発表 (2018年7月12日)

取扱い販売代理店